

単元名 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 語句と語句との関係、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。  
 (2) 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、その意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。  
 (3) 登場人物の関係等に着目して自分の考えを広げ、互いの意見を交流しようとする。

### 標準的な展開例

06010309\_001

【教材名】海の命 (P. 217～P. 232)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習課題を確認し、学習の計画を立てる。  <b>★登場人物の関係を捉え、人物の生き方について話し合おう。</b>          ○学習の見通しをもつ。          ○「海の命」という題名から、想像したことを発表する。          ○全文を通読し、心に残ったところや疑問に思ったところなどを交流する。          ○「これまでの学習」を参考に、これまでの文学的な文章の学習を振り返り、「登場人物の関係を捉え、人物の生き方について話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2～4 「海の命」を読み、登場人物の相互関係や心情を読み取る。          ○物語の設定を確かめ、構成と内容を捉える。          ○登場人物の生き方や関係を捉える。            ・父            ・与吉じいさ            ・母</p> <p>○物語の山場を読み深める。            ・「瀬の主」と対峙したときの「太一」の心情やその変化を考える。            ・「太一」が「瀬の主」を殺さなかった理由や、「海の命」が表すものについて、考えを交流する。</p> <p>5～6 登場人物の生き方について、自分の考えを文章にまとめ、互いに交流する。          ○それぞれの登場人物の生き方について考え、それに対する自分の考えをまとめる。</p> <p>○登場人物の生き方について考えたことを、グループで話し合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 (P. 217) で、題名やリード文、挿絵から物語の内容を想像させる。</li> <li>・題名から想像させることで、物語への興味をもたせる。</li> <li>・教科書 (P. 232) の「たいせつ」を読ませ、「物語の読みを広げる」視点について確認させる。</li> <li>・「太一」と他の登場人物との関係を、行動や会話、情景に着目してまとめる。</li> <li>・それぞれの人物がどんな人かが分かるところに線を引かせる。</li> <li>・「はばかり」「こときれる」など分からない言葉は、国語辞典で意味を調べさせる。</li> <li>・事前に、家庭学習などで意味調べをさせておくことも考えられる。</li> <li>・ワークシートにまとめさせる。</li> <li>【評】登場人物の生き方や関係を捉える活動を通して、表現の効果を考える「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・人物の行動や会話、様子などを表す表現を関連づけ、その人物の考え方を想像させる。</li> <li>・一つの事柄に対する複数の人の見方を比べると、その人物らしさがはっきりすることを確認する。</li> <li>【評】作品を読み深める活動を通して、互いの意見を交流しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・「海の命」を読んで印象に残った人物の生き方について、文章にまとめさせる。</li> <li>【評】自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】自分の考えをまとめる活動を通して、語感や言葉の使い方に対する「知識・技能」を評価する。</li> <li>・まず、書いた文章を読み合わせしてから話し合ってもよい。</li> <li>【評】話し合う活動を通して、自分の考えを広げる「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・他者の考えにふれて考えが広がったことや、初めて読んだときに感じたことなどについて学習後の自分の考えの変容を意識しながら学習感想を書かせる。</li> <li>・「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。</li> <li>・「この本、読もう」で、読書への意欲をもたせる。</li> </ul>

【 備 考 】